

平成29年度 山口県地域福祉でまちづくり推進セミナー 開催要項

1 趣 旨

いま、私たちの暮らす地域には、日常生活を送る上で様々な「生活のしづらさ」を抱える人々が多くなっています。

かつては家族や親戚、隣近所の支え合いによって、そうした問題を解決していましたが、現在、少子高齢化・人口減少社会の進展やそれに伴う家族形態の変容等により、一人で抱え込み、誰にも相談出来ずに、地域から孤立している人や世帯が増加しています。

このような現状をふまえ、地域で生活する上で「生活のしづらさ」を抱える人々に目を向け、制度やサービスを活用しながらも、住民がお互いに支え合いながら、地域で課題を解決していく仕組みづくりが求められています。

そこで、本セミナーでは、『住み慣れた地域で 誰もが安心して心豊かに暮らし続けることができる 地域（まち）づくり』の実現をめざして今日的な課題に向き合うとき、地域住民をはじめとする関係者がどのように取り組んでいけばよいのか、その視点や手法について学び、地域福祉活動の推進に資することを目的に開催します。

2 主 催

社会福祉法人 山口県社会福祉協議会

社会福祉法人 防府市社会福祉協議会

3 後援（予定）

社会福祉法人 山口県共同募金会

4 日 時

平成30年1月22日（月） 午後1時から午後4時まで

5 会 場

防府市地域交流センター（アスピラート）音楽ホール
〒747-0036 山口県防府市戎町1-1-28 TEL 0835-26-5151

6 定 員

600人

7 参加費

無料

8 対 象

地区社会福祉協議会役職員、自治会役員、福祉員、民生委員・児童委員、老人クラブ会員、ボランティア、学校関係者、企業関係者、地域包括支援センター職員、相談支援事業所職員、社会福祉施設職員、NPO 団体関係者、行政関係者、市町社会福祉協議会役職員、友愛訪問グループ員、その他地域福祉活動に関心のある方など

9 日 程

| | | | | | |
|-------|---------|-------|-----------|-------|-------|
| 13:00 | 13:10 | 14:10 | 14:25 | 15:55 | 16:00 |
| 開会 | 講演(60分) | 休憩 | 事例報告(90分) | 閉会 | |

(受付 12:00～) (閉会 16:00)

研修プログラム

◆ 講 演

「一人ひとりを大切にする地域づくり」

～みんなが幸せな地域をつくる為に～

講師 **新崎 国広** (あさき くにひろ) 氏
大阪教育大学 教育学部 教授



《目的》

少子高齢化・人口減少社会や単身世帯の増加等によって、福祉施策が充実していく一方で、地域における自然な助け合いが失われ、孤立死や引きこもり等、制度だけでは対応できない地域の課題が増加しています。

そうした中、地域住民にも『他人事』になりがちな地域の課題を『我が事』として関心を持ってもらい、協働しながら住民が主体となり、誰もが安心して生活できる地域づくりを進めていくことが必要とされています。そこで、全国での先進的な事例等をふまえながら、住民主体の地域活動の必要性や住民の福祉意識の醸成の重要性についてお話していただきます。

《講師プロフィール》

大阪教育大学教育学部教育協働学科教育心理科学講座 教授
大学院教育学研究科健康科学専攻(夜間大学院) 教授。

1978年、肢体不自由児施設にてソーシャルワーカー兼ボランティアコーディネーターとして従事。働きながら、社会福祉士資格取得、大阪教育大学大学院修士課程修了。

1999年4月、専門学校専任講師、2001年4月 中部学院大学助教授を経て、2003年4月より大阪教育大学准教授。2017年4月より大阪教育大学教授。

学科名が“教育協働学科”に、講座名が“教育心理科学講座”変更します。

著書

- 『教育支援人材とチームアプローチ-社会と協働する学校と子ども支援』、書肆クラルテ、2016
『新・福祉教育ハンドブック』（分担執筆）全国社会福祉協議会、2014
『なぎさの福祉コミュニティを拓く-福祉施設の新たな挑戦』（編著）大学教育出版、2013
『岡村理論の継承と展開 第2 巻自発的社会福祉と地域福祉』（分担執筆）、ミネルヴァ書房、2012
福祉教育教材集『ぬくもり』（執筆・監修）、全81頁、大阪府教育委員会、2010
『ボランティア論』（分担執筆）ミネルヴァ書房、2010
『ソーシャルインクルージョンへの挑戦』（分担執筆）明石書店、2007
『先生のための福祉教育ガイド』（編著）、滋賀県社会福祉協議会、2007
『福祉教育のすすめ』（編著）ミネルヴァ書房、2006
『社会福祉施設ボランティアコーディネーションのめざすもの』編著 久美株式会社、2005
『社会福祉施設ボランティアコーディネーションの実際』監修・執筆 久美株式会社、2005
『よくわかる社会福祉』『よくわかる地域福祉』（分担執筆）中央法規出版、2002
『ボランティアのすすめ』（分担執筆）ミネルヴァ書房、2005

社会的活動

- 日本福祉教育・ボランティア学習学会理事、
東大阪市社会福祉審議会 地域福祉専門分科会委員長
東大阪市「第3 期地域福祉計画」・「新・地域福祉活動計画」策定委員長
東大阪市社会福祉協議会 評議委員
社会福祉法人産経新聞厚生文化事業団 評議委員
羽曳野市「期地域福祉計画」・「地域福祉活動計画」策定委員長
吹田市「地域福祉活動計画」策定委員長
大阪市市民活動審議会委員

◆実践報告

「集いの場が高める地域の福祉力」

～そこで暮らす人達であるからこそできる取組～

| | |
|----------|-----------------------------|
| 報告者 | ①防府市 小野地区社会福祉協議会 会長 市川 高正 氏 |
| | ②周南市 三丘地区社会福祉協議会 会長 藤井 允雄 氏 |
| コーディネーター | 大阪教育大学 教育学部 教授 新崎 国広 氏 |

《目的》

地域住民同士が主体的に地域の課題を発見し、「地域をよくしていこう」という気持ちを行動に結びつけ、地域の課題の解決や孤立を防ぐ取組について報告いただきます。

その後、報告者と参加者の方々とのやりとりを通じ、それぞれの活動にどのような特徴やポイントがあるのか整理をし、明日からの地域での活動にどう活かすことができるのか皆さんと一緒に考えていきます。

10 参加申込書の提出

平成30年1月12日（金）までに別添申込書に必要事項を記入し、下記宛てに郵送、FAX、メールのいずれかにてお申し込みください。

記入いただいた個人情報は、セミナーの運営目的にのみ使用し、それ以外の目的で使用することはありません。

11 交通アクセス

■ JRでお越しの方

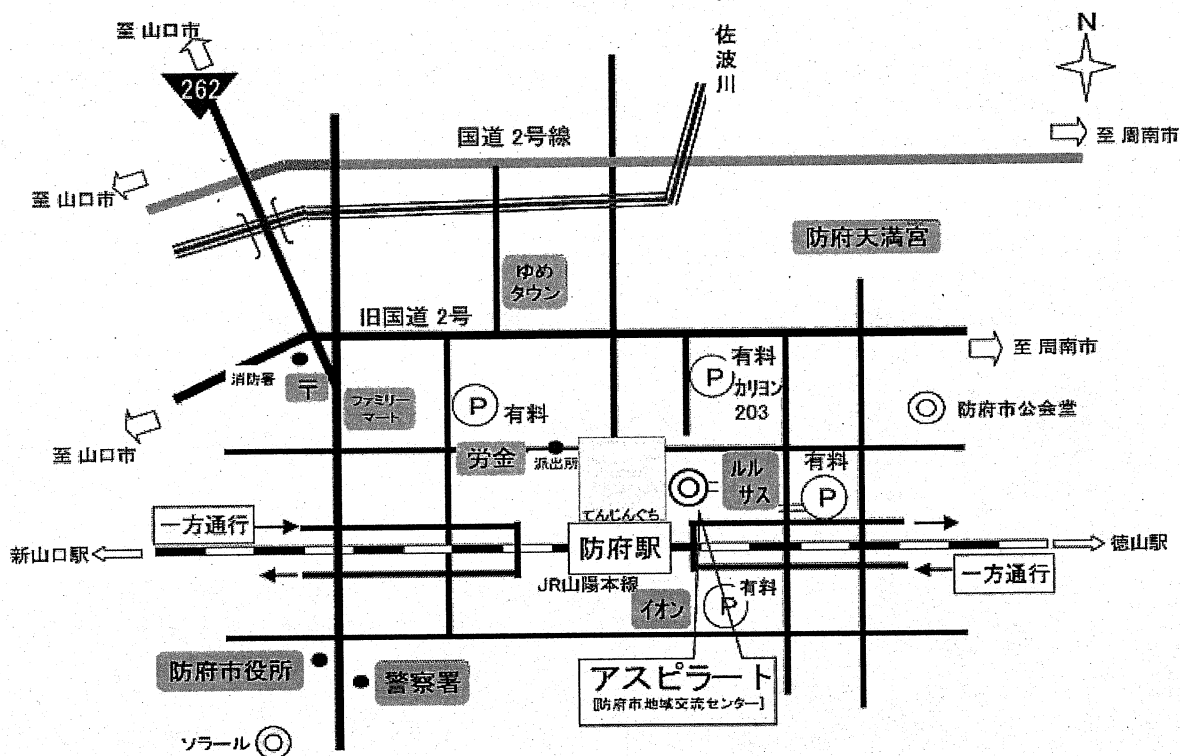
JR山陽本線「防府駅」北口（てんじんぐち）から東へ徒歩1分

■ バスでお越しの方

JR防府駅下車徒歩1分

■ 自家用車でお越しの方

山陽自動車道防府東・西ICより約7分



12 駐車場

- (1) 会場には、専用の駐車場がありませんので、お車でお越しの際は、近隣の有料駐車場（別紙 近隣駐車場マップ参照）を利用させていただくようになります。
- (2) 可能な限り公共交通機関をご利用ください。
- (3) 大型バス等でお越しの方は、後日駐車場をご案内しますので、申込書に記入してください。

13 申込み・問合せ先

社会福祉法人 山口県社会福祉協議会

地域福祉部 地域福祉班

担当：大田、遠藤（嵩）

〒753-0072 山口市大手町9-6

TEL (083) 924-2828 FAX (083) 924-2847

e-mail chiiki@yg-you-i-net.or.jp

平成29年度
山口県地域福祉でまちづくり推進セミナー 参加申込書

団体名・施設名： _____

連絡先（電話番号）： _____

記入者： _____

| No | ふり がな | 所属名 | 役職名 | 備考 |
|-----------------------------------|-------|-----|--------------|----|
| | 氏 名 | | | |
| 1 | | | | |
| | | | | |
| 2 | | | | |
| | | | | |
| 3 | | | | |
| | | | | |
| 4 | | | | |
| | | | | |
| 5 | | | | |
| | | | | |
| マイクロバス等大型車両で来場される場合は、台数を記載してください。 | | | 大型車両 利用台数 | 台 |

※本様式が足りない場合は、お手数ですがコピーにて対応をお願いいたします。

※希望者多数の場合は先着順となり、定員に達した時点で締め切らせていただきますので御了承ください。

※手話通訳・要約筆記・車いす補助等が必要な場合は、備考欄に記入してください。

【申込締切】

平成30年1月12日(金)までに郵送、FAX、メールのいずれかにてお申込みください。

【申込み・問合せ先】

社会福祉法人 山口県社会福祉協議会

地域福祉部 地域福祉班

担当：大田、遠藤（嵩）

〒753-0072 山口市大手町9-6

TEL (083) 924-2828 FAX (083) 924-2847

e-mail chiiki@yg-you-i-net.or.jp